

事業所防災リーダー通信 **2023** Vol. **35**

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



消火器の使い方

消火器は、炎が天井に達するまでに行う初期消火にもっとも有用なうえ、小型で軽量であるため女性や高齢者でも取り扱いが簡単です。出火して3分経過すると炎は天井に達してしまうといわれているため、慌てず素早く消火活動を行うことが大切です。万が一に備え、消火器や消火栓の場所を日ごろからチェックし、使い方を社内に周知しましょう。

消火器の使い方

周りに複数の人がある場合は、まず手分けしてフロア周辺の消火器をなるべくたくさん集めましょう。



逃げ道確保のため、出入り口を背にして火元を確認します。



消火器の上部についている、円状で黄色の安全ピンを抜きます。



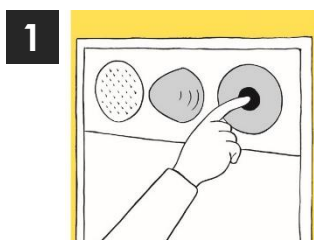
ホースを外し、ノズルの先端をしっかりと持って放射口を火元へ向けます。火との距離は7～8m手前を目安にするといでしょう。



レバーを強く握り、火の根元を狙って薬剤を放射します。炎が天井に達したら消火をやめ、ただちに避難します。

屋内消火栓の使い方

屋内消火栓は2人以上で扱います。ノズル担当とバルブ操作担当に分かれ、ノズル担当が火元に向かって放水します。



赤い起動ボタンを押すとポンプが起動します。火災を知らせるベルが鳴り、表示灯が点滅します。



扉を開け、ノズル担当がホースを延ばし火元へ向かいます。水圧に耐えられるよう、腰を落としてノズルをしっかりと握りましょう。



ノズル担当からの合図を受け、バルブ操作担当は開閉バルブを開いて送水します。



火元に放水します。バルブ操作担当は、ホースの折れ曲がりを確認しながらノズル担当の補助に回ります。

イラスト出典：東京都総務局防災部防災管理課『東京防災』p188-189（リニューアル前）

東京都からのお知らせ

「働く人のための『風水害に備える』マイ・タイムライン作成セミナー」受講者募集中
受講無料。風水害対策に悩める防災担当者の皆様、まずはご参加ください！

【足立会場】12月1日（金）14時～16時 @シアター1010（JR北千住駅徒歩3分）

【目黒会場】12月8日（金）14時～16時 @目黒区民センター（JR目黒駅徒歩10分）

◆セミナー詳細：<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/mytimeline/1006597/1020511.html>

◆Web事前登録：https://questant.jp/q/hataraku_mtl_seminar_2023